

日時 2026年8月27日(木) 13時30分～

場所 青森文化会館 小会議室(3)

参加者〈阿部 奥村 古村 栗橋 三浦 笹田 中道 鹿内 吉俣 伊藤
Zoom 浅石 畠山 澤井 下館〉

〈経過報告〉

7月17日 県への要請書、公開質問状提出
運営委員会

7月18日 大MAGROCK&大間原発反対現地集会
19日

7月下旬 県議会請願書・県への要請書提出に伴う、賛同団体の依頼

8月19日 むつ中間貯蔵施設の共同利用に関する抗議と公開質問状を県に提出

〈議題〉 ※ 青文字のところが報告になります。

1、むつ市長に「むつ中間貯蔵施設の協定外事業者との共同利用」に関する抗議と公開質問状の提出について(別紙)

- ・日時については議会中であり、調整中・・・決まり次第連絡します。
- ・場所 むつ市役所

栗橋さんから報告と提案

むつ市議会の開催中で日程が決まっていないが、決まり次第周知します。近日中になる予定
山本市長が「共同利用」については、まだ決まっていないなどと言っているが、しかし、市長の
考えは「共同利用」で決まっているだろう。
提出の日時決まったら参加をお願いします。

2、青森県議会議長宛に請願書・県知事に要請書行動について

- ・県議会議長への請願書提出
2026年9月10日(木) 午後1時
2階議会議長応接室
請願書(別紙)を「県民の会」で賛同団体、紹介議員を添えて提出
- ・県知事への要請書提出
2026年9月10日(木) 午後1時30分～
県議会面会室(1)
議長宛の請願書同様の内容で要請書として提出

あわせて、要望書（別紙）を提出の上、県の考えを頂く。

- ・賛同団体については現在別紙請願書21団体です。

10日の提出になりますので、8日まで賛同団体を募っていく。

議長への請願書提出は28日連絡があり、

9月10日（木）午前11時45分～

2階 議長応接室 （県議会議員面会室の真上になります）

※ 11時30分集合

賛同団体の確認、まだ返事のないところがありますが、電話等で再確認します。これから賛同をお願いする団体等を出していただき再度要請を行います。（8月28日要請済み）

8月31日現在で34団体（下記 別記 団体名・賛同呼びかけを含め）

締め切りは8月30日としてありましたが、9月10日の提出に間に合うよう

9月8日に事務局へ報告下さい。再度紹介いただける団体がありましたら連絡下さい。

紹介議員のついては、全県議会議員に請願書に対する採択されるよう賛同及び紹介議員になって頂くよう文書にて依頼。（9月8日配布予定）

知事への要請書提出は

9月10日（木）午後1時30分 1時15分集合

県には要請書と要望書を提出し、その場で要望に対する回答をいただき、質問等をおこないます。時間は30分

運営委員、賛同団体へ呼びかけます。参加をおねがいします。

3、ストップ！核のゴミ・県民の集い（仮称）開催要項（案）

① 日時 2026年12月5日（土）13：00～16：00

② 会場 青森市文化会館 4階 中会議室 （椅子机利用で230名）

③ 主催 核のゴミから未来を守る青森県民の会

④ サブタイトル（開催趣旨）

— 2045年4月の高レベル放射性廃棄物搬出の約束を守らせ、
再処理とむつ中間貯蔵はやめよう —

⑤ 内容

ア) 主催者あいさつ（5分 ） 司会（ ）

イ) 問題提起（60分）

・テーマ

・発言者（2～3人、各20分～30分）

ウ) パネルディスカッション（100分）

・テーマ

- ・発言者（３～４人
- ・進行（
- エ）アピール採択（５分） 後日県に要請文として提出
- オ）閉会あいさつ（５分
- ⑥ 参加費 資料代 ５００円 資料代は頂かず会場カンパをお願いをする

サブタイトル・問題提起者・パネルディスカッション等について意見交換をしました。

主な意見

- ・２０４５年４月２５日をサブサイトに入れる。
- ・再処理工場、むつ中間貯蔵施設の問題点の提起
- ・５０年預かっている核のゴミをどうするのか、青森県民からの発信をすることが大切で必要では。
- ・県民の会で問題提起、２０４５年問題（高レベル放射性廃棄物搬出期限がを守らせる）を中心に古村一雄代表（事務局長）が行う。
- ・県や国、事業者等への対策（抗議、要請、公開質問状）が不可欠、それについての問題提起
- ・全国的に核燃サイクル（再処理・むつ中間貯蔵施設）はまだまだ知られていない、広げていくことが必要。
- ・全国的にも青森でも反原発、反核燃の運動が何か壁にぶつかっている、どうしたら突き破れるか、何をすれば、何ができるのか・・・意見交流ができるようなパネルディスカッションにできないのか。
- ・講師による講演はどうだろう（参加者を募るため）

等々の意見がでました、意見等をいかし、次回の運営委員会（１０月３日）には、問題提起、パネルディスカッション等の具体的な内容、人選を含め（案）共同代表、事務局で検討し提起します。

※内容についての希望や意見を事務局までメール等をお願いします。

４、「反核燃・未来に希望求めて・４０年のあゆみ」（仮称）骨子（案）

- ① 発行日 ２０２６年１２月５日（土）
- ② スケジュール 共同代表、事務局で原案作成し、運営委員会で決定
１０月－原案提示 １１月－最終決定、印刷
- ③ 体裁 A４版 ８頁 ・カラー・
（冊子でなく、身近に利用できるパンフ作成
※条例制定の際には高レベル放射性廃棄物の問題点を主に４頁で作成）
- ④ 部数 （ ）
- ⑤ タイトル（サブも含めて 表紙に）
ア）子供たちに！原子力に頼らない未来を
イ）核燃料サイクルは失敗し、核のゴミ捨て場に NO

ウ) 失われた40年を取りもどす！私たちの使命

エ) 約束を守らない、原子力にサヨナラを

⑥ 内容

ア) 国策と漂流する原子力政策の犠牲の歴史

イ) 3点セットが7施設（核ゴミが下北半島に集中）

ウ) 国の計画は実現せず、事業者は約束守らない

エ) 再処理、高レベル放射性廃棄物処分場できず、中間貯蔵は不要

オ) 原発廃止等核ゴミ処分できず、下北半島にすべてが

カ) 原子力に頼らない地域振興は可能

キ) 人口減少と原子力関連のあゆみ（2頁、見開き）

ク) ()

鹿内さんから内容についての説明、

40年史というと、分厚い冊子のような想像すると思うので、「・・・40年のあゆみ」8ページでまとめる。少しでも多くの人に見てもらうためには、どうしても難しい内容になりがちなので、できるだけ言葉も簡単に分かりやすものにしたパンフにしたい。

生協連での学習会のために作成した資料等を用いたりし、タイトル、内容は上記のようにする。

※制作にあたっては鹿内さんを中心に事務局で行う。次回の運営委員会までは（案）を提示する。

5、その他

・ 次回の運営委員会 2026年10月3日（土） 午後1時30分
 青森市文化会館 4階小会議室3

・ 「あおばな」申込完了 8月28日申し込み
 希望日時は10/14 11/21 11/22 いずれも14時～

6、主な行動予定

8月末	7月17日提出の公開質問状の回答予定
9月 3日	「再処理工場と核のゴミを語る市民集会」 ラサール石井参議院議員を囲んで シンポジウム 浅石紘爾・鹿内博 パネラー （アウガ開場 13:00～）
9月10日	県議会請願書 ・知事要請書提出
9月16日	県議会一般質問
9月28日	県議会 本会議質疑

- 9月29日 本会議常任委員会（環境・厚生委員会）
- 10月 1日 県議会 閉会（本会議採決）
- 10月中旬 運営委員会 10月3日に決定
（請願報告・12月集会確認・40年史）
- 11月 3日 「半径5mリヴォリューション！」
おしどりマコケンのお話（フクシマ・六ヶ所プロジェクトで主催）
- 11月14日 秋の共同行動（むつ市）
- 15日 //（青森市）
「地方への押し付けはもうたくさん！問題だらけの核ゴミ最終処分政策を斬る」
高野聡（原子力資料情報室）
- 11月中旬 運営委員会（12月集会準備・40年史）
- 12月 5日 （仮）再処理阻止青森県集会
- 12月中旬 集会アピール文内容で知事に要請文、公開質問状提出

〈別記 賛同団体〉 8月31日現在 34団体

青森県平和推進労働組合会議・青森県平和推進労働組合会議東青地方本部
 青森県平和推進労働組合会議津軽地方本部・青森県平和推進労働組合会議上十三下北地方本部
 青森県平和推進労働組合会議三八地方本部・青森県高齢者問題懇談会
 青森県労働組合総連合・青森県反核実行委員会・核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会
 核燃サイクル阻止一万人訴訟原告団・大 MAGROCK／大間原発反対現地集会実行委員会
 青森県生活協同組合連合会・日教組青森県退職教職員協議会
 青森県農民組合連合会・青森県農業者政治連盟協議会
 核の中間貯蔵施設はいらない！下北の会・原発核燃なくす下北の会
 核燃いらない市民の会・六ヶ所村の新しい風・花とハーブの里六ヶ所村
 アイ女性会議青森県本部・新日本婦人の会青森県本部・原水爆禁止青森県民会議
 青森・チェルノブイリ子供支援ネット・大間原発に反対する地主の会
 なくそう原発・核燃・あおもりネットワーク・核燃だまっちゃおられん津軽の会
 原水爆禁止青森県協議会・戦争いやだ・憲法守れ！県民の会
 社民フォーラムしもきた・フクシマ・六ヶ所プロジェクト
 生活クラブ生活協同組合・核燃サイクル立地反対連絡協議会
 青森県民主医療機関連合会